

(博士後期課程) 電気電子・機械工学専攻【機械工学コース】 アドミ

SSION・ポリシー

研究科・専攻ポリシー

複雑・多様化する機械工学分野において、機械工学を基盤とした先端機械工学の研究課題を積極的に見出し、広範な機械工学の知識を応用し、持続可能な発展の実現に向けた諸課題の解決を探究できる高度専門技術者・研究者の育成を行う。また、電気電子工学などの他の分野の融合知識や技術も修得して、問題解決に向けてリーダーシップを発揮し、機械工学分野の諸問題を探究する能力を高めていく。

<求める人物像>

- 機械工学の専門知識・技術を具体的な研究課題に応用して、実験や解析した結果を工学的に考察する能力を深化させようとする意欲のある人
- 広範な機械工学の技術課題に対して、その解決策を自身の考えに基づいて探究する能力をもった人
- 広範な機械工学の知識を応用し、新しい機械工学の技術革新に貢献する意欲を持っている人

入学前に学修しておくことが期待される内容

博士後期課程では専門分野における先端および周辺の研究を理解し、その研究分野の進歩に寄与する研究方針を議論したうえで、自分の研究の目的を設定する。またその研究が技術の革新に寄与するか、社会の要請に応えられるかを説明したうえで、研究を遂行し、多くの画期的な成果をあげて論文化し、プレゼンテーションすることが求められる。

一般入試

前述の内容を遂行するために独自の研究課題の設定、高度な実験、シミュレーションの手法を調査研究し、研究課題に関する見通しを得ておくことが期待される。

外国人留学生入試

英語、数学を十分学修すること。また機械工学を学ぶ基本である熱、流体、材料、機械の4つの力学と日本語を十分学修すること。さらに独自の研究課題の設定、高度な実験、シミュレーションの手法を調査研究し、研究課題に関する見通しを得ておくことが期待される。